

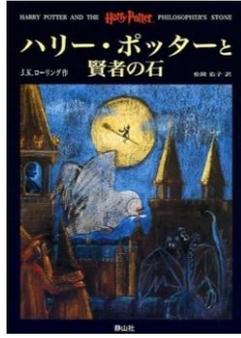
新作・名作の映画と一緒に、原作本もどうぞ…



『僕が愛したすべての君へ』
『君が愛したひとりの僕へ』
乙野四方字/著

【映画版公開日】2022/10/7
#恋愛 #並行世界 #同時刊行
#序章、あるいは終章

(高校 1-3 図書委員)



『ハリー・ポッター』シリーズ
J・K・ローリング/著
【映画版公開日】2001/12/1
#魔法 #友情 #愛 #勇敢
#ワクワク #ドキドキ
#魔法生物 #イギリス

(高校 1-3 図書委員)

自宅での映画鑑賞には
「お供」が欲しい！

それなら自分で作っちゃおう！



『はじめてのお菓子作り』
主婦の友社/編
#簡単ステップ #ポルポローネ
#一口おやつ #映画のお供に
#何度も作りたくなる！

(中学 2-2 図書委員)

※本号に掲載した画像データの一部は、「openBD プロジェクト」(株式会社カールル、版元ドットコム)より提供を受け、利用規約を遵守しています。

映画「すずめの戸締り」公開記念！ 新海誠作品の映画&ノバライズ本レビュー

『小説 秒速5センチメートル』【映画公開日】2007/3/3

“どれほどの速さで生きれば、きみにまた会えるのか”

2007年に公開された映画「秒速5センチメートル」。互いに惹かれ合っていた男女の時間と距離による変化を「桜花抄」「コスモナウト」ならびに「秒速5センチメートル」という短編3話の連作構成で描く。

映画主題歌には山崎まさよしの「One more time, One more chance」が起用されており、本作の情感あふれる風景と絶妙にマッチしていて、心揺らさずにはられない。

「桜の花びらの落ちるスピードだよ。秒速5センチメートル。」明里と貴樹はいつも近くにいた。けれど、中学で離ればなれに。やがて、彼らは大人になり、別々の人生を歩いていく。それなのに、静かに降り積もる雪、ゆっくりと舞う花びらを見るたび2人で一緒に過ごした“あの頃”を思い出す。彼らは再び出会うことができるのか。そして、彼らの胸をそれほどまでに締め付ける“あの頃”の記憶とは…。

(高校 3-2 図書委員)

『小説 君の名は。』【映画公開日】2016/8/27

“キセキ”を信じてみませんか？

この作品は2016年に一世を風靡したアニメ映画の小説版である。しかし、この作品は映画の後に小説化されたのではなく映画より小説の方が先に出版されたことも驚きのひとつだ。男女が入れ替わってしまうという現実では到底信じられないことだが、そこから始まるストーリーはとても引き込まれてしまうものである。「現実でもしあったら…？」とキセキを信じたくなる作品だ。この作品は映画化もされているということもあり、映画を見た後に小説を読むのと、小説を読んだ後に映画を見るのと、どちらでも楽しむことができる。

また、この作品の作者である新海誠監督の最新作(「すずめの戸締り」)が現在上映されている。この機に是非、新海誠監督を読んでみてはいかがだろうか。

(高校 3-2 図書委員)